

新・京都学講座

御土居を歩くと

洛北編

御土居とは豊臣秀吉が築造させた京都を囲む外郭です。その規模は全長約22.5kmにおよぶもので、近世京都の市街地外部をも包摂する巨大さでした。新時代の幕開けに、秀吉はどのような目的で御土居を構想したのでしょうか。洛北の旧農村や旧街道沿いに今も残る遺構を通じて、御土居の歴史的意義を再検討します。

2025年 4月 19日 (土)

時間 14時00分～15時30分 (受付開始 13時15分～)
会場 京都府立京都学・歴史館 大ホール
料金 500円 ※当日会場でお支払いください (現金またはPayPay)



京都ノートルダム女子大学客員教授。関心分野は都市史、景観史。なにげない地面の高低差をはじめ、さまざまな視点からまちなみや風景、人びとの営みを読み解く。歴史地理に関するテレビ番組に多数出演。主な著書に『京都の凸凹を歩く』1・2 (青幻舎)。



左:『洛中絵図』江戸前期末(17世紀末)(部分) [国際日本文化研究センター蔵] (矢印で示した線が御土居)
 右: 現存する御土居 (講師撮影)

都を囲んでいる白色点線の部分が御土居です!

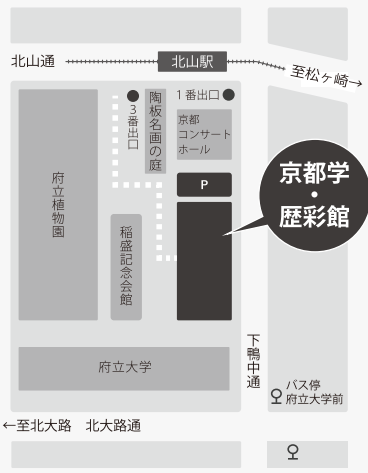


『京都一覽図』江戸末期(1860年代)(部分) [京都府立京都学・歴史館蔵]

御土居は古い史料に記されているだけでなく、今もなお京都のまちに息づいています。わたしたちがまちで見かけた“高低差”は、実は御土居だったのかもしれないね...!

主催: 京都府立京都学・歴史館指定管理者「コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体」
 共催: 京都府立京都学・歴史館

京都府立 京都学・歴史館
 Kyoto Institute, Library and Archives
 〒606-0823 京都府京都市左京区下鴨半木町1-29
 ☎ 075-723-4831 (代表)
 ● Information
 開館時間: [平日] 9:00-21:00 [土日] 9:00-17:00
 休館日: 毎月第2水曜日、祝日、蔵書整理期間
 年末年始(12月28日～1月4日)
 京都府立京都学・歴史館ホームページ▶
<https://rekisaikan.jp/>



京都市営地下鉄烏丸線
 北山駅下車(①出口)南へ徒歩約4分
 京都市バス1、204、206系統
 府立大学前(北大路通)下車北へ徒歩約6分
 駐車場/31台(有料)
 駐輪場/敷地内(下鴨中通側・無料)

お申し込み方法

以下のいずれかの方法でお申し込みいただけます!

- お申し込みフォーム
 2次元コードまたはURLからアクセスし、お申し込みフォームに必要事項をご入力ください。
<https://rekisaikan.jp/news/post-news/post-16930/>
- お電話 075-723-4831
 受付時間 9:00-17:00 (休館日をのぞく)
 ①代表者氏名 ②電話番号 ③申込人数をお伝えください。



【締切】4月18日(金)17時 ※定員に達し次第受付終了